2020年3月6日 日本共産党愛知県委員会 委員長 岩中 正巳

新型コロナウイルス感染症対策についての検査、医療体制強化の要請

新型コロナウイルス感染症の影響で県民の皆さんから不安の声が広がっています。「熱が出ても入院を拒否される」、「症状があっても保健所でPCR検査をしてもらえない」、「病院で消毒用のアルコールやマスクが不足して困っている」など深刻な声がわが党にも次々と寄せられています。

愛知県として、県民の不安に応え緊急に以下の点について強化をおこなうよう要請します。

【要請項目】

- 一、 PCR検査の量を緊急に増やすため民間の研究機関の力を活用すること
- 一、 あらゆる感染症に対応できる熟練の技術をもった職員を早急に配置し、県衛生研究 所の人的充実をはかること
- 一、 第2種感染症指定医療機関を早急に増やし、感染者の受け入れを急ぐこと
- 一、 マスク、防護服など必要な物資と人員、維持にかかる経費を愛知県として補助する とともに、国の責任で必要な経費を負担することを県として要望すること
- 一、 藤田医科大学岡崎医療センターでの新型コロナウイルス感染症患者受け入れにかか わる支援について岡崎市長から厚生労働省に依頼されている救急隊員用の資材等の支 援、センター近隣の学校への支援、症状が急変した乗客の受け入れ医療機関の確保、県 職員の派遣などの要請に県としても応えること
- 一、 PCR検査を行う衛生研究機関が愛知県内では現在、名古屋市内2か所に限られているが、こういった事態に迅速に対応できるよう、三河部や尾張部にも検査機能を有する機関を設置すること

以上